



仲町屋いきいき交流会



神山ふれあい会



店屋場なごみ会



茶屋だれでも茶の間



町屋ふれあい会

## 地域づくりワークショップから「地域の茶の間」へ

広がる!

地域づくりワークショップの様子



「地域の茶の間」、そのきっかけは地域づくりワークショップ——町では平成16年度から「皆の力で住みよいまちづくり、地域福祉」※の充実をはかつていこう」を目的に住民参加による地域づくりワークショップを開催してきました。メンバーを入れ替わながらの2年間に及ぶ活動では、「地域で何が必要とされて

けは地域づくりワークショップ——町では平成16年度から「皆の力で住みよいまちづくり、地域福祉」※の充実をはかつていこう」を目的に住民参加による地域づくりワークショップを開催してきました。メンバーを入れ替わながらの2年間に及ぶ活動では、「地域で何が必要とされて

いるのか」、そこから自分たちが身近にできる行動のヒントを探り、ご近所でのコミュニケーーションの重要性がわかりました。そのためには近隣での声かけ、気軽に話せる場所や身近で助けられる仕組みづくりなどの実践が必要で、地域でどう取り組むかについても検討されました。

現在では、このような成果を携えたワークショップのメンバーが各地域に戻り、ご近所の皆さんと協力しながら、新たな地域づくりの輪として「地域の茶の間」が出来上りました。誰もが気軽に集える、楽しめるよう住民の皆さんのが中心となっています。

※高齢者や障害者に限らず、すべての方が、地域でイキイキと暮らせるように、住民・町・社会福祉協議会が一緒に進めていこうとする考え方の福祉です。

現在では、このようないくつろぎ、話をしたり、将棋をしたりなどと個人がのんびりと楽しめる場となっています。活動時間は午前10時から午後4時と長く、お昼どきには、みんなで持ち寄った手づくり料理などを食べ、和気あいあいと過ごしています。

「町屋ふれあい会」では月1回の活動日を決め、集会施設を会場に午後1時30分から午後3時30分までの2時間ほど活動しています。内容は歌を歌ったり、大正琴の演奏を聴いたりと皆で楽しむための時間とそれそれに話をしたりするための時間と分けています。また月によつては運動会など開催したり、普段と違う活動をしています。

このような地域福祉の活動事例を11月から開催する「ふくしふれあい座談会」(広報まつだ4面掲載)で紹介し、地域社会全体で支えあっていく仕組みづくりを考えていきます。

【問合せ】 福祉課 福祉推進係  
☎ 83-1226

## 「地域の茶の間」は現在、5箇所

# 「地域の茶の間」づくり

自宅にこもりがちだった高齢者の方が、毎月の活動を楽しみに参加したり、活動日以外にも仲間同士で集会施設に集まり、お手玉づくりやぞうきん作りを行っています。また、他の参加者に面白い話をすることを楽しむとする高齢の方は、そのため準備をして一生懸命に参加をしています。このように地域の茶の間は一つの交流の場として広がっています。そのほかに、今まで話したことのない住民同士のつながりができ、日々の生活でもより安心できるようになりました。新しく地域に引っ越してきても、交流の場があるのでは地域になじみやすいなどと喜びの声が聞かれました。

## 参加者は

83-1226